



# 市長と

# 車座トーク

## 第20回 神村学区（概要）



開催日時	2017年（平成29年）5月2日（火） 19:30～20:30
開催場所	神村公民館
参加者数	10人
次 第	市長のあいさつ 意見交換 地域からまとめのあいさつ



### ＜車座トークでの主なご意見＞

- ・神村学区は2015年6月にまちづくり計画を策定し、取組を展開している。この中で最も重要な点は、「安心安全なまちづくり」である。
- ・少子高齢化の中、自治会の脱退者が増加傾向にある。若い人の自治会への入会が少なく、隣近所の絆を失われつつある。良い知恵があれば聞かせて欲しい。
- ・松永は福山市と合併して50年が過ぎたが、様々なインフラ整備が遅れ、活性化が見られないと感じている。活性化するための市のビジョンがあれば聞かせて欲しい。
- ・消防団は高齢化が進んでいるので、若い市職員に入団を呼びかけて欲しい。消防団は、去年の土砂災害の時も、昼夜を問わず作業を行った。また、防火の啓発活動を通して市民の生命・財産を守っている。イベント等で消防団活動をPRしているが、さらに広報できる

場所があれば教えて欲しい。

- ・ボランティアの会では、公民館で「いきいきサロン」を実施している。ただ、参加するための交通手段など高齢者に不便な面もある。また、場所は2階の会議室だがトイレは1階しかない。今後、高齢化が進むので、増改築の計画時、2階のトイレを考慮して欲しい。
- ・体育振興会は一年を通して、6つのスポーツ行事を行っている。屋外競技は松永運動場があるが、屋内競技は近くに大きな施設がなく、尾道市の体育施設や沼隈体育館を利用する。4か月前からしか予約できない施設もあり、年間行事を予定できない状況にあるため、松永地区にも大きな体育館があればと思う。
- ・松永地域では、赤ちゃんとお母さんのためのブックスタート事業を14年前から民生児童委員協議会が取り組んでいる。キラキラサポーター、保健師、児童委員が協力し、訪問しての読み聞かせや絵本のプレゼントの他、育児相談や行政窓口の紹介等をしている。費用も手間もかかるが続けていきたい。現在、市内では40%程度の取組であり、福山市全体に広げていけばよいと思う。
- ・神村学区では、グラウンドゴルフ場として2か所の土地を借り、市から借上料の補助を受けながら使用している。休耕田を広場にしたいが、固定資産税が上がることから実施できない。免税などの措置があればと思う。
- ・神村学区の敬老会は、福祉を高める会とボランティアの会を中心に進めている。市から素晴らしい記念品をいただいているが、種類が多く仕分け作業が大変である。ボランティアで続けるために、できるだけ仕分けがしやすいよう考慮してもらいたい。
- ・通学路の総合点検を関係各課や学校、PTA等で実施し、25の危険箇所が発見され、工事で大半が改善された。
- ・現在、神村小学校西の市道神村167号線の拡張工事は、約半分が完了した。通学路に係る場所であり、なるべく早く工事を終わって欲しい。
- ・伝統芸能である虫送りの「胴鉦（どうかね）踊り」を次世代に継承しようと、まちづくり計画に基づき5年生の総合学習で取り組んでいる。学校の発表会で披露をしたほか、市のイベントや国道2号松永道路4車線の完成式典オープニングにも要請を受け参加した。貴重な体験をしてみんな誇りを持っている。この学習で地域のつながりが深まり、郷土愛も高まり、低学年の子も5・6年生への憧れや尊敬の気持ちが生まれる。子どもたちは芸能保存会をはじめ自治会等たくさんの人に育てられている。
- ・小学校は耐震化工事が完了し、子どもたちは安心して勉強している。この場を借りてお礼を言いたい。
- ・福山市は、子どもを育てるのにとってもよい環境の地域だと思う。一時保育も利用しやすく、何度も助かった。病児保育は西部に1か所あるが、2部屋しかなく異なる病気の子どもの同時に受け入れにくい。働くお母さんにとってはありがたい制度なので増やして欲しい。
- ・学区内にある公園の多くは狭く、近所迷惑になるためボール遊び等が難しい。子どもたちが学校から帰って、安全で安心して遊べる場所が近くにあると大変ありがたい。

## ＜市長のまとめ＞

- ・ 神村は名誉市民の福原麟太郎の生地。地域の誇りとして子どもたちに語り継いで欲しい。
- ・ 自治会の加入については、人口が増えているところも過疎に悩んでいるところも等しく加入率が減っている。良い活動事例を全国から集めており、市内にも特徴的なものがあるので参考にして欲しい。市職員に自治会活動への参加を勧奨していく。
- ・ まちづくりのビジョンについて、松永駅の北口と松永港本郷線を結ぶ道路新設事業が進んでおり、完成すれば活用する動きが出てくる。福山大学の学生たちがまちの活性化のために活動したいという思いを持ってきている。進んでいる事業を核に、活性化のきっかけにして欲しい。人口減少社会を念頭に、「福山市立地適正化計画」を作っている。都市機能を集約させ、まちをエリアで考える取組をしている。神村地区は将来どんなエリアにするのかなど、その地域にふさわしいまちづくりを考える時にもう一度議論をしたい。
- ・ 消防団は市民の誇りであり、去年の大雨の時も活躍していただいた。団長にも相談しながら市の支援も考えてみたい。市職員は151人が入団しているので、さらに参加するよう呼びかけを行っていく。
- ・ 施設のことでお年寄りに不便をおかけするのは心苦しい。公民館、コミュニティセンター、ふれあいプラザ等の機能を集約した交流館の建設を進めている。時代にふさわしい施設を地域の財産として新設し、高齢者にも不便をかけない構造にしたい。
- ・ 体育施設は、それぞれの学区にあればいいが、維持管理の問題もある。右肩上がりの成長社会を終え、みんなの努力で安心な生活を送っていかないといけない時代になっている。我慢できることは我慢しあい、使える施設は融通しあって欲しい。いい方法が助言できればと思う。
- ・ ブックスタートは民生児童委員の素晴らしい事業と思っている。一緒になって取り組んでいきたい。予算の面もあり市も少し検討したい。また、今年度から妊娠から再就職の支援まで一貫してお母さんをサポートするネウボラという制度が始まる。
- ・ 休耕田を広場に活用する場合は、雑種地となり税金も上がるため、規制緩和の適用ができないか研究してみたい。
- ・ 敬老会は、子どもたちも参加し、いろいろな催し物があり大変喜ばれる行事となっている。関わる人に出来るだけ負担が無いよう、お祝いの品のあり方について考えたい。
- ・ 通学路の安全対策がなされ、だいぶ良くなったというお褒めの言葉をいただきホッとした。子どもたちが更に安心できるよう、引き続き着実に整備していきたい。
- ・ 市道神村167号線は大型バスが入れるための拡幅工事であり、4年間で計画通り着実に進めたい。
- ・ 郷土芸能の伝承は、素晴らしいふるさと学習だと思う。2022年に福山城築城400年という大きな節目がある。各学区が大切にしているものを持ち寄って自慢し合う、そんな場を今後検討していきたい。
- ・ 神村小学校の耐震化についてお褒めの言葉をいただき本当にうれしい。耐震化に留まらず、子どもたちがいい環境で教育を受けてもらえるよう整備を図りたい。

- ・病児保育は、働くお母さんにとって重要な制度であり、安心して利用できるよう取り組んでいきたい。
- ・公園について、安心して体を動かせる場所が少ないのは課題であり、市で研究していきたい。

### <地域からのあいさつ>

今日は市長さんをはじめ行政の関係者の方、大変お忙しい中、おいでいただきまして、本当にありがとうございました。我々学区民といたしまして、このように身近なところで市長さんをはじめ、さまざまな意見を聞いていただくこういった機会は本当にございません。聞かせて頂いた貴重な意見を学区民に広めて、私たちの目標である、神村が安心安全な町でありますように鋭意努力させていただきます。

市長さんをはじめ、関係者の皆様、本日は本当にありがとうございました。